

我が校の強み弱み分析・評価シート

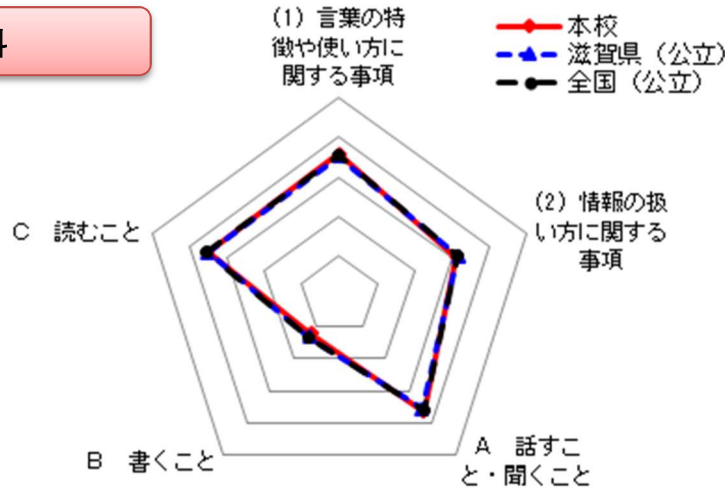
調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

結果について

本校では、国語科・算数科ともに全国の平均正答率をやや下回る項目もありましたが、おおむね全国平均と同じです。質問紙では、全国と比べて肯定的な回答が多かったものと、肯定的な回答が少ないものを分類し、一覧にしています。

国語科



【強み】

【話すこと・聞くこと】

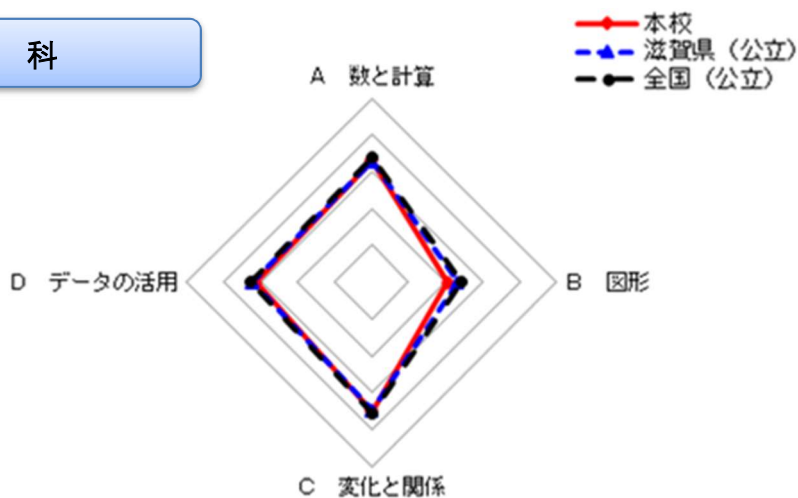
話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすることや、質問者の意図を考えて答えたりすることができています。

【弱み】

【書くこと】

文章全体から情報を取り出し、分析・整理することや、文の書き表し方に着目して、文や文章を整えて書く力に課題が見られます。

算数科



【強み】

【数と計算】

乗法の計算が乗法九九などの基本的な計算をもとにできていることや、その筆算の仕方について理解することができています。

【弱み】

【図形】

二等辺三角形や正三角形といった図形の特徴をとらえ、その性質について記述したり、図形の構成の仕方について理解したりすることについて課題が見られます。

児童質問紙

【肯定的な回答が多い項目】	【肯定的な回答が少ない項目】
<ul style="list-style-type: none"> ・学校に行くのは楽しい。 ・友達関係に満足している。 ・人が困っているときは進んで助けている。 ・普段の生活の中で幸せな気持ちになることが多い。 ・自分には良いところがあると思う。 ・学級の友達と話し合う活動で自分の考えを広げられている。 ・先生は理解していない所をわかるまで教えてくれる。 ・読書は好きである。 ・いじめはどんな理由があっても許されないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食を毎日食べている。 ・毎日同じくらいの時刻に寝る。 ・将来の夢や目標がある。 ・国語、算数、英語の勉強は好きだ。 ・今住んでいる地域の行事に参加している。

指導の充実に向けて

<あらゆる教育活動において>

- 学校として取り組んでいる協同的な学習を通して、よき聴き手・よき話し手を育てます。
- 意欲を高め、見通しをもって学習に臨めるような「めあて」を提示し、わかったことや考えの変化、めあての達成度などを「振り返る」活動を充実させます。
- 一人ひとりに寄り添い、繰り返し丁寧に積み上げる指導で、基礎基本の定着を図ります。
- 学年で教材研究や授業交換等を行い、質の高い授業づくりに努めます。
- 互いに認め合い、高め合い、安心して学べる教室として、学習ルールや規律を整え、支持的風土にあふれた学級づくりに努めます。
- 一人一台のタブレット端末を効果的に用いて、「情報活用能力」の育成に努めます。
- 文章や図、グラフから必要な情報を取り出す活動を取り入れるなど、「読み解く力」の育成に努めます。
- 友達とのやり取りから、相手の意図や思いを感じ取る活動を取り入れるなど、「読み解く力」の育成に努めます。
- 挑戦意欲・協同性を高め、達成感を味わえるような学習を仕組みます。

<教科学習において>

- 国語科・・・「書く」活動へ慣れ親しむために、学習の振り返りや作文など、書く活動を授業に組み込む工夫をします。
様々な文章に触れる機会を設け、正しい文章構成や言葉を学ぶための工夫をします
- 算数科・・・生活との結びつきを味わえるような体験などを取り入れます。
実感の伴った数量や公式理解のために、具体物を使った操作活動を取り入れます。